特集Ⅰ．第４回大東文化大学看護学会総会

異文化・他言語に『自ら』飛び込み触れることにより得られること

足立　エリカ

大東文化大学　スポーツ・健康科学部　看護学科

Ⅰ.身をもって多様性を体感できたことが、今の私を形作った

まず，自己紹介をさせていただきます．私は日本人の父とイタリア人の母を持つハーフです．生まれも育ちも大阪のため，母語は日本語です．高校は縁あってイタリアの美術専門校に通ったため，15 歳から 21 歳までは片田舎の『イタリア語しか通じない』親戚の家に住んでいました．帰国後は居を埼玉へ移し，2018 年の 3 月までは通信関係の接客業に就き，2018 年 4 月から大東文化大学で学ばせていただき，今に至ります．日本語とイタリア語は，ある程度身につきましたが，英語は未だに勉強中です．いつか話せるようになりたいですね．

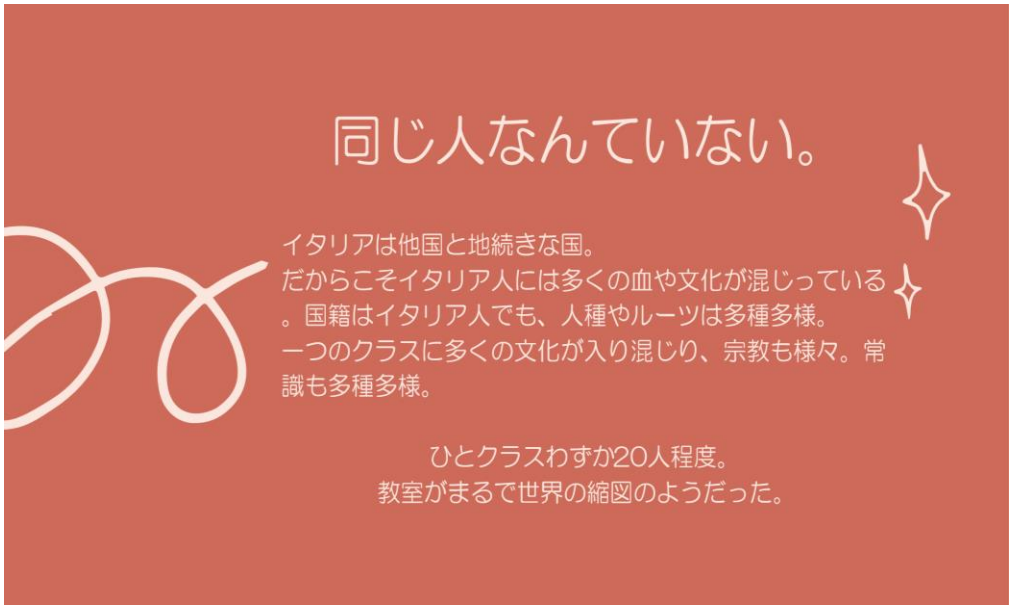
さて，お察しの通り，私は学生の皆さんよりも優に 10 は歳を重ねています．日常は目まぐるしく変化し，私が海外に滞在していた頃と比較すると，近年は日本においてもグローバリズム化が進みました．現代は留学様式も多義にわたるため，時間と資金さえ捻出できれば年齢を問わず容易に留学できる環境になったように思います．規制はあるものの，コロナ禍の今でさえ日本人の留学生の受け入れを行っている国がいくつもあることがそれを物語っています[1)]．

では，グローバリズムとはなんでしょうか．皆さん答えられますか？　耳にすることはあっても，意外と具体的な内容は知らないことも多いものです．恥ずかしながら私もうまく説明できないので，これを機に調べました[2)]．

グローバリズムとは，地球を一つの共同体と捉え，世界の一体化を図ろうという思想のことです．国や地域などの物理的な枠組みを越えて，地球規模であらゆる分野の拡大・統合を行う考え方や姿勢のことを指します．

グローバリズム化が進むことで，世界中で人の移動が活発になりました．令和２年末の在留外国人数は，288 万 7,116 人です[3]．新型コロナウイルス感染症の影響か，対前年末比で減少に転じたものの，日本全体での外国人住民の割合は 2.2%．つまり 100 人いれば 2 人から 3 人は外国人だという計算になります[4]．クラスに 2〜3 人外国人がいると考えるとイメージしやすいかもしれません．この中にクラスメイトや友人に外国人やハーフがいた人もいるかもしれませんね．私たちが外の世界に行かずとも，異文化・他言語は想像以上に身近な存在になりました．これから一緒に働く仲間の中にもいるかもしれません．そうなった時に，自分ならどのように付き合っていくかを，今のうちから少しイメージしておくといいと私は思います．私は異文化・他言語に飛び込んで行った側です．留学を経て得た変化をいくつか紹介します．

当たり前のことですが，一人ひとり違うのだということを学びました．
私の住んでいたイタリアは他国と地続きのため，イタリア人には多くの血や文化が混じっています．私のクラスの中にも白人や黒人，ラテン系もいましたが，み



んな国籍はイタリア人でした．当然、多くの文化が入り混じり，宗教も様々．常識も多種多様です．考えの違いからクラスメイトたちがぶつかることもありましたが，子どもなりに相手を尊重し，お互いの考えをすり合わせていました．母以外周りに日本人しかいない環境で育った私には，一つのクラスに世界が凝縮されたように思えました．身をもって多様性を体感できたことが，今の私を形作ったのだといえます．

Ⅱ．日本の文化の中の「美徳の精神」と「同調圧力」

次に，考え方の変化です．日本には過剰に規律を重んじる風潮があり，生活の中で自然と当たり前なこととして身につきます．右にならえの性質というとわかりやすいかもしれません．

私は，ルールや納得できる点に関しては周囲に合わせ，自分のスタイルをしっかりと持ち，主張すべきことはしっかり主張することが大切だとイタリアの生活の中で学びました．

自分がよりよく生きていける環境を構築するためには，各文化の良いとこ取りをすべきだと思っています．社会に対して同じような意見のあるイタリア人が集まると『ストライキ』が発生します．ストライキを通して，自分たちの主義主張を伝えようとします．最近のニュースだと，グリーンパスに対してストライキが行われましたね．ストライキが必ずしもいいことだとは思いません．しかし，「声を上げる」ことで，変化を起こそうとする姿勢は見習うべきであり，時に必要なものであると思います．時代は変わります．常識も変化します．私たちは必要なルールは遵守しながら，自分の意見も主張できるようになる必要があるのではないでしょうか．

イタリアでの生活を体験して，私は日本の文化の中で「美徳の精神」と「同調圧力」は好ましくないと考えるようになりました．

例えば，自分の成果であっても「自分がやりました」とは声をあげづらいと感じませんか？　「チームのみんながいたからできました」と言ってしまいませんか？　チームのみんなの力を主張しつつ，自分の成果はちゃんと伝えなければ自

分の成果として反映されません．また，自分の成果を自分自身で認めなければ，過去の自分に対する自己肯定感も，未来の自分に対する自己効力感も養いにくくなるのではないかと私は思います．

Ⅲ．どうすれば伝わるかを考えることができるようになった

さてみなさん，イタリア人男性は軽いってイメージないですか？　初めて会った女性に対して「美しい」と声をかけ，「ちょっと話そうよ」と誘ってきます．彼らの行動は一見軟派に見えますが，基本は本音です．彼らは感じたことをそのまま言葉として発しているだけなので，ここで謙遜して「そんなことないですよ」と返すと相手は傷つきます．日本では美徳であるはずのお世辞や謙遜，身内を下げて伝えるという文化は，物事をストレートに受け取る外国人には「否定された気持ち」を与える可能性があります．日本の文化を理解しつつも，「そんなことないですよ」よりも「ありがとうございます」と返す方がお互い気持ちよくいられるのではないでしょうか．

次に私は，言語は絶壁ではないと考えるようになりました．言い切ってしまうと語弊がありますが，言葉がわからないからといってコミュニケーションが成立しないわけではありません．知っている単語とボディーランゲージで，意外となんとかなります．私は英語が得意ではないので，英語で話しかけられるとややパニックになりますが，そういう時は大体日本語で「ちょっと待って」と言いながら両掌を前に出しストップのポーズを取ることで相手はちゃんと待ってくれます．

外国には体を大きく動かすことで気持ちを伝える国がいくつもあります．100％気持ちを伝えることは困難ですが，非言語的コミュニケーションも活用することでお互いの気持ちをある程度通じ合わせることは可能です[5)]．受け持ち患者さんが日本人であっても，疾患次第で日本語が通じないかもしれません．遠回りでもそれなりに伝わると考え，どうすれば伝わるのかを考えることができるようになったのも，異文化・他言語との交流があったからだと思います．

Ⅳ．一人ひとりが違っていて当然、それが個性

さて，みなさんは自分がどの宗教に属しているかご存知ですか？　私はカトリックです．すべての洗礼も受けました．ですが足繁く教会には通いませんし，輪廻もあると思っています．宗教って，日常から離れたところにあるようなイメージかもしれません．でも，宗教は決して他人事ではありません．日本では土着の神道もあれば，外来の仏教や儒教，道教，キリスト教も受け入れられてきました．日本人にとってイスラム教は依然として未知の宗教ですが，世界第 2 の宗教です[6]．宗教は国のあり方にも，個人の在り方にも大きく関わっています．在留外国人が身近な存在となった今，看護師として働くのならば，対象者を深く理解するためにも最低限の宗教に関する知識は身に付けておくべきだと私は思います．

世界には様々な背景の人や考え方の人がいます．国籍が同じでも違っていても一人ひとりが違って当然であり，それこそが個性です．

私の世界は留学をすることで広がりました．しかし，必ずしも留学する必要があるということではありません．現代では，インターネットや SNS が身近な存在となり，家にいながら気軽に世界に触れることができます．興味を持って異文化に触れることで，自分の常識を再確認し，さらには新しく構築することも可能でしょう．

私たちの多くは，世間一般よりも多くの人と関わる可能性のある職につくと思います．接する相手が日本人であっても，生まれ育った環境や時代によっては，私たちと違う常識をもっているかもしれません．

自分の持つ常識と，相手の持つ常識は違うのかもしれないという考えを持つことは，自分の考えを主張しながらも，相手の考えを受け止め尊重することへとつながるはずだと，私は考えます．

本日は，私が今までの体験から得た思考の一部をお伝えしました．あくまで私個人の価値観によるものですので，「そんな考え方もあるんだな」程度に受け止めていただければと思います．

本発表が，すべての人が安心して医療を受けられる社会を作っていくために私たちが何をすればいいのかを考えることにつながると幸いです．

以上で私の発表を終わらせていただきます．ご静聴、ありがとうございました．

参考文献

1)留学ジャーナル:21 年 10 月　コロナ禍の留学情報まとめ．
https://www.ryugaku.co.jp/column/2020/06/covid19.html,(検索日 2021 年 10 月 6 日)
2)コトバンク:「グローバリズム」．
https://kotobank.jp/word/%e3%82%b0%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%83%90%e3%83%aa%e3%82%ba%e3%83%a0-253321.(検索日 2021 年 10 月 6 日)
3)出入国在留管理庁:「令和 2 年末現在における在留外国人数について」．
https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00014.html.(検索日：2021 年 10 月 6 日)

4)総務省統計局:「人口統計（令和 3 年（2021 年）4 月平成 27 年国税調査を基準とする推計値,令和 3 年（2021 年）9 月概算値）（2021 年 9 月 21 日公表）」.
https://www.stat.go.jp/data/jinsui/new.html,(検索日 2021 年 10 月 6 日)

5)大谷佳子（2021）：対人援助の現場で使える言葉〈以外〉で伝える技術便利帳(初版), 24-25,30-31, 翔泳社,東京

6)島田裕巳(2021):サクッとわかるビジネス教養　宗教と世界(初版),4-5,34-114, 新星出版社, 東京